

# 成果重視事業特許事務機械化庁費

平成30年度予算額 **300.1億円（248.7億円）**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 本事業では、特許庁の業務全般にわたって情報システム（PC及びサーバ等の電子計算機）が利用できる環境を整備するとともに、「特許庁業務・システム最適化計画」に基づくシステム刷新、優先度の高い制度改正等に対応した情報システムの開発・改修を行います。

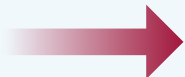
### 成果目標

- オンライン出願受付稼働率：100%
- ・ 24時間365日インターネットを用いたオンライン出願の受付を可能とすることを目指します。（平成17年に開始し、終了予定が無い、継続的に実施する予定の事業）

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）

請負・賃貸借等

国



民間企業等

## 事業イメージ

### 成果重視事業特許事務機械化庁費の内訳

#### ● 特許庁システム整備

「最適化計画」に基づくシステム刷新等における情報システムの開発及び運用に必要な経費。

<主要項目>

特実方式審査・特実審査周辺システムの刷新

#### ● 特許事務総合機械化開発費

優先度の高い制度改正及び国際連携の拡大等に対応したシステムの開発・改修を行うための開発に必要な経費。

<主要項目>

意匠分野の優先権書類の電子的交換

審査用端末入替えに伴う最新ソフトウェア環境への対応

#### ● 特許事務総合機械化実施費

情報システムの運用管理に必要な経費。

<主要項目>

ヘルプデスク等業務（OPサービス）

#### ● 通信回線料及び電子計算機借料

拠点間通信回線、審査用端末及びサーバの賃貸借に必要な経費。

<補足>

現在、審査用端末約3,700台、サーバ約600台を有する。